

経営比較分析表

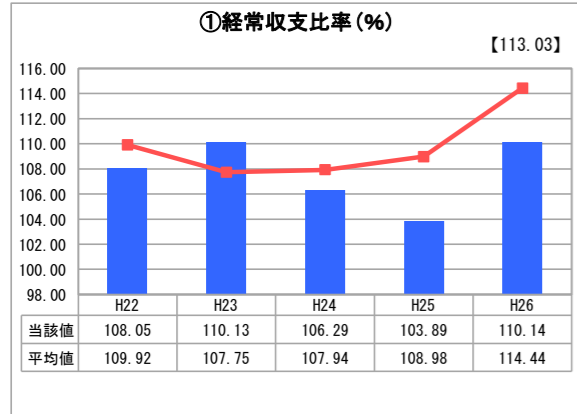
埼玉県 川越市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A1 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 78.97 | 99.98 | 2,106 |

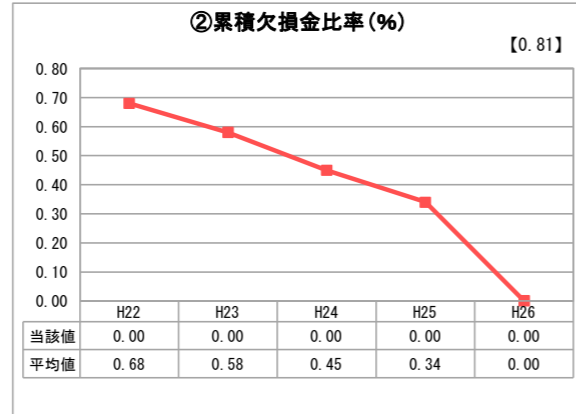
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 349,378 | 109.13 | 3,201.48 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 349,317 | 109.13 | 3,200.93 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 平成26年度全国平均 |

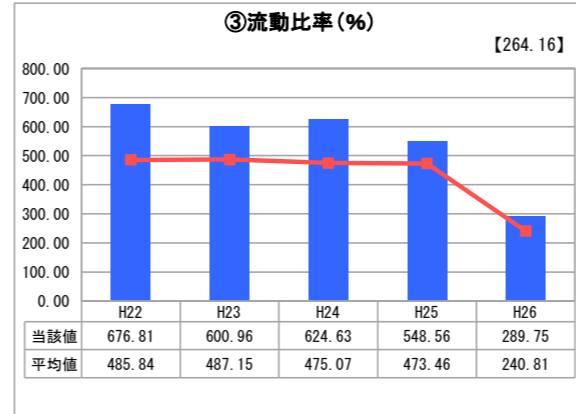
1. 経営の健全性・効率性



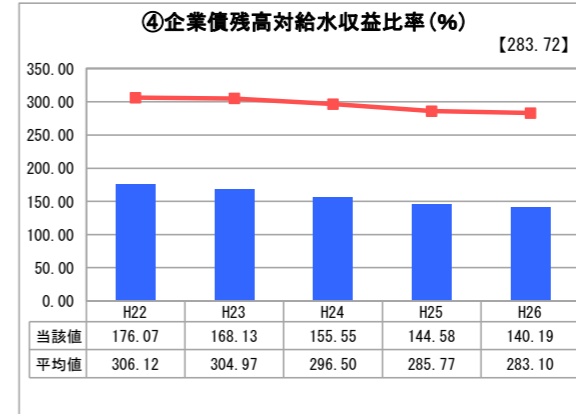
「経常損益」



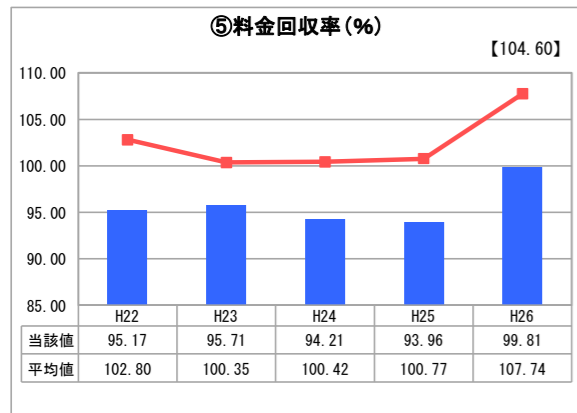
「累積欠損」



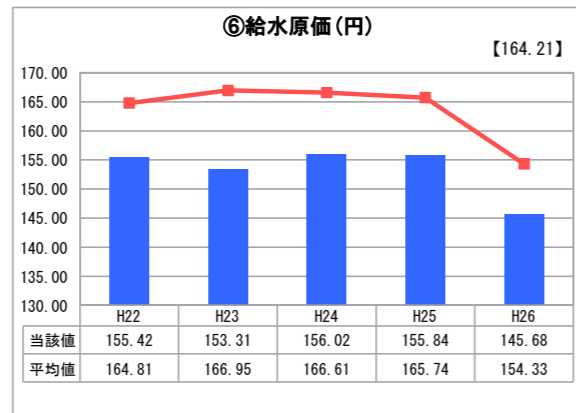
「支払能力」



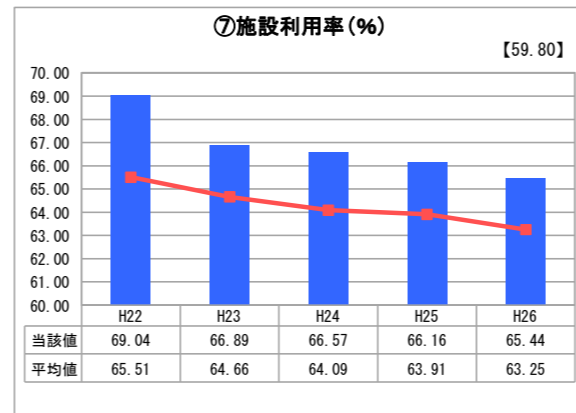
「債務残高」



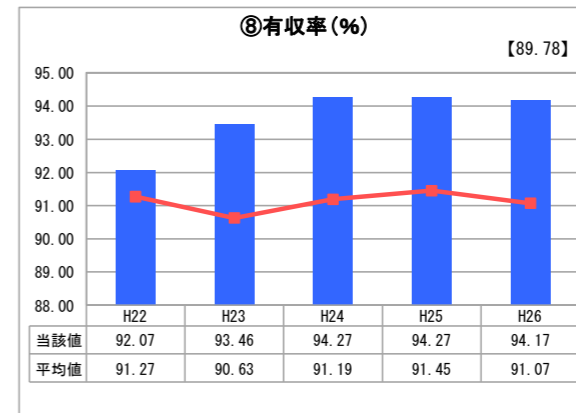
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

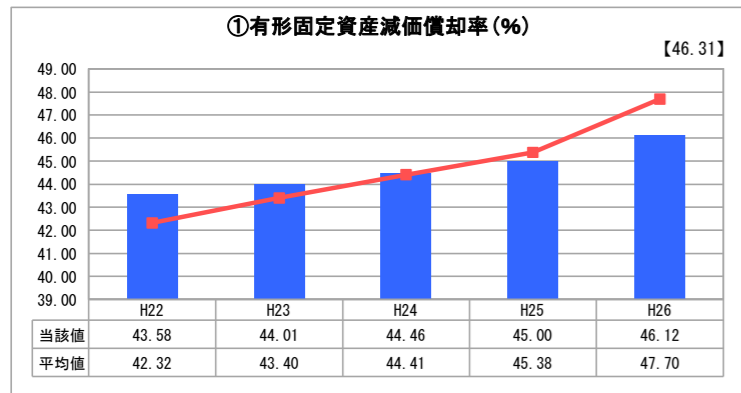


「施設の効率性」

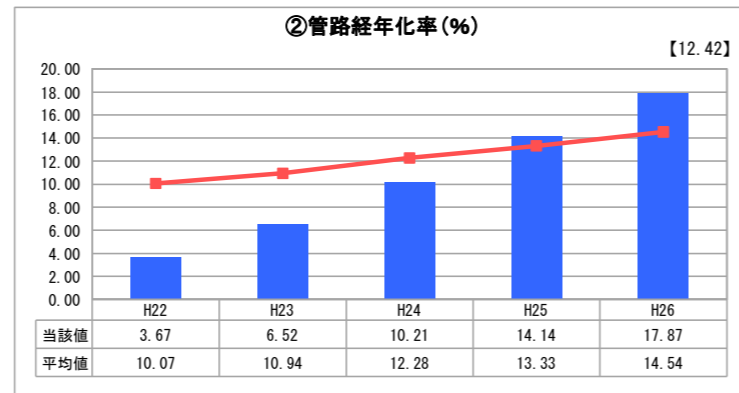


「供給した配水量の効率性」

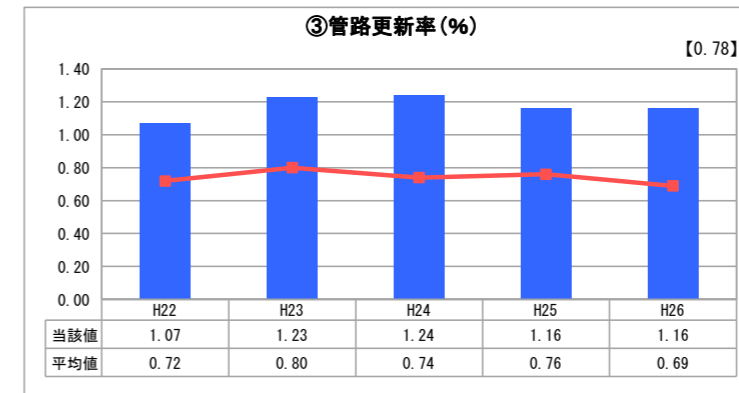
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

全体的に経営の健全性は保たれている。企業債残高対給水収益率は類似団体と比較し、かなり低い数値となっており、将来負担が少なくなっている。しかし、必要な更新事業を行っているか検証する必要がある。また、料金回収率においては100%に届いていないため、経常費用の削減等継続して経営の効率化に努める必要がある。施設利用率、有収率については、類似団体と比較し高い数値で推移している。しかし、有収率が上昇傾向にある一方で、施設利用率の下降が見られるため、将来的には施設のダウンサイジングも検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

類似団体と比較すると管路更新率は高いが、管路の老朽化は進んでいる。今後も老朽した管路割合は増加が見込まれることから、さらに更新スピードを上げる必要がある。

全体総括

経営状況は概ね良好であるが、管路や保有資産の老朽化が進んでいるため、計画的に更新していく必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。